

# 富山県版総合戦略 「とやま未来創生戦略 2017」の概要

ねらい

人口減少を克服し、富山県の自然、文化、産業など、各地域の**特色・強み**を活かした持続可能で**活力ある未来を創造**する

## 人口減少自体への対応

## 人口減少社会への適応

- ・希望出生率と現状のギャップ
- ・晩婚化と未婚化の進行

- ・若者、女性の転出超過
- ・産業経済の活性化の必要性

- ・生産年齢人口の大幅な減少
- ・生産性向上の必要性

- ・地域コミュニティの弱体化
- ・人口減少による様々な影響

### 基本目標 1

結婚・出産・子育ての  
願いが叶う環境整備

自然減の歯止め

### 基本目標 2

産業振興、若者等の  
雇用創出、観光振興、  
県内への移住促進

社会増への転換

### 基本目標 3

女性・高齢者など  
多様な人材の確保と  
労働生産性の向上

労働力不足への対応

### 基本目標 4

活力あるまち・健やか  
かな暮らし・未来を  
担う人づくり

地域の総合力アップ

## 数値目標 (平成31年)

県民希望出生率  
「1.9」を目指す

基準

[2012]	1.37
[2015]	1.51
[2030]	1.9
[2040]	2.07

外国人の社会増の影響もあり、社会動態が改善

若者女性の転入増、転出減  
15~34歳の社会移動

基準

[2013]	-1,550人
[2016]	-327人
[2020]	移動均衡

人口の社会増(全世代計)

基準

[2014]	-1,147人
[2016]	+226人
[2020]	+100人
[2025]	+200人

1人当たり県民所得の  
維持・向上を目指す

基準

県民所得	
[2012]	307.7万円
[2013]	315.9万円
[2020]	維持・向上

健康寿命の延伸

基準

[2010]	男 70.63歳	女 74.36歳
[2020]	男 72.74歳	女 76.32歳

将来も富山県に住みたいと  
考える高校生割合

基準

[2015]	59.8%
[2020]	60%以上

## 施策の具体例

### 項目① 結婚から子育てまで切れ目のない支援による少子化対策の推進

- 結婚を希望する男女の出会いの場の提供、ライフプラン教育の充実
  - ▶ 意識調査結果を踏まえた県・市町村・企業等による**結婚支援体制の強化**
  - ▶ 富山での結婚・出産・子育ての**ハッピーライフキャンペーン**を展開
- 妊娠、出産、健やかな子どもの成長のための環境整備
  - ▶ 産前・産後ケア、周産期保健医療体制の充実
  - ▶ 不妊症・不育症対策の推進
- 多様な保育・子育て支援サービスの充実や子育て支援人材の育成
  - ▶ 病児・病後児保育、延長保育、放課後児童クラブなどの支援体制の充実



- 子育て家庭の経済的負担の軽減
  - ▶ **第3子以上の保育料の無料化**
  - ▶ **三世代同居・多子世帯の住宅取得**等を支援
- 社会全体での子育て支援の機運醸成
  - ▶ **第4子以上が誕生したご家庭**へのお祝い
- 仕事と子育ての両立支援に向けた職場環境の整備促進
  - ▶ **全国初**の**一般事業主行動計画**の条例による策定**義務化**の拡大
  - ▶ **企業子宝率を活用した**仕事と子育てが両立しやすい環境づくり
  - ▶ 仕事と子育ての両立を図る**働き方改革**を推進



平均初婚年齢	夫31.0歳、妻29.2歳 ⇒ 1歳程度引き下げる
病児・病後児保育実施箇所数	82箇所 ⇒ <b>130箇所</b>
とやま子育て応援団の利用度	53.7% ⇒ 70%

- 項目② 産業・地域経済の活性化
- 項目③ 若者や女性がいきいきと働き暮らせる魅力ある地域づくり
- 項目④ 観光の振興、定住・半定住の環境づくり



施策の具体例

- 「薬都とやま」の産業集積を活かしたライフイノベーションの推進
  - ▶ PMDA (医薬品医療機器総合機構)の支部、未来創薬開発支援分析センター(仮称)設置
- 最先端ものづくり産業の育成
  - ▶ 「製品機能評価ラボ」(仮称)、「セルロースナノファイバー製品実証・試作拠点」を整備
  - ▶ 産学官金が連携したコンソーシアムの設置
  - ▶ IoT導入促進による「富山型モデル」の推進
- 新幹線時代の積極的な企業誘致活動
  - ▶ 本社機能等の移転促進

- 農林水産業の競争力強化 (TPP対策など)
  - ▶ 米の新品種の導入、富山ブランドの確立
- 県立大学の体制充実と地元定着
  - ▶ 全国初 医薬品工学科新設、看護学部開設、県内就職に向けた県内企業PR
- 選ばれ続ける観光地、ブランドカアップ
  - ▶ 「立山黒部」、「富山湾」の国際ブランド化
  - ▶ 「日本橋とやま館」での情報発信を強化
- 定住・半定住の促進
  - ▶ 大規模な移住・転職フェアの実施、大阪、名古屋圏等での情報発信

主なKPI

医薬品生産金額

6,089億円 ⇒ 9,000億円

従業者1人あたり付加価値額(製造業)

985万円 ⇒ 1,100万円

県立大学卒業生の県内企業就職率

42.0% ⇒ 55%以上

観光消費額(宿泊+日帰り/観光・ビジネス)

1,292億円 ⇒ 2,067億円 (6割アップ)



- 項目⑤ 女性が輝いて働ける環境づくり
- 項目⑥ 高齢者等が能力を発揮、活躍できる社会の実現
- 項目⑦ 多様な人材の確保と労働生産性の向上



施策の具体例

- 女性の活躍促進、女性人材育成の推進
  - ▶ 女性の活躍を推進するため実態調査を実施
  - ▶ 女性の活躍促進に向けた働き方改革の推進
- 男性の家事・育児・介護等への参加
  - ▶ イクメン、カジダン の養成、長時間労働の見直しなど働き方改革の推進
- 女性の再就職支援
  - ▶ ものづくり分野への女性の就業促進、女性の職域拡大・スキルアップのための職業訓練
- 元気な高齢者が活躍するための支援
  - ▶ とやまシニア専門人材バンクの活用
  - ▶ 社会活動を通じたエイジレス人材の育成促進

- ものづくり・観光分野等での人材育成
  - ▶ ものづくり人材、グローバル人材の育成支援
- 外国人留学生の受入・定着の促進
  - ▶ アセアン地域等からの留学生の受入拡大
- 生産性の向上と産業の高度化支援
  - ▶ IoTの導入促進による労働生産性の向上
  - ▶ 「デザイン交流創造拠点」整備によるものづくり技術とデザインの活用商品の開発
- 生産性の高い農業の展開
  - ▶ ICTなどを活用した次世代施設園芸
  - ▶ チューリップ球根栽培用ロボット開発

主なKPI

研究者・技術者における女性の割合	11.8% ⇒ 14.1%
アセアン地域からの留学生受入数	19人/年 ⇒ 24人/年
農業産出額	643億円 ⇒ 698億円



- 項目⑧ 交通ネットワーク整備と活力あるまちづくり
- 項目⑨ 健康で安心して暮らせる社会の形成
- 項目⑩ 地域を担う人づくり



## 施策の具体例

- 交通ネットワーク、魅力あるまちづくり
  - ▶ 北陸新幹線の整備促進、伏木富山港の機能充実、総合体育センターと連携した富山空港の利用促進
  - ▶ 地域公共交通ネットワークの確保・充実
  - ▶ 活力ある経済・生活圏形成等の地域連携
- 健康寿命日本一推進プロジェクト
  - ▶ IoTを活用した運動習慣の定着、食生活の改善などによる、健康寿命日本一の推進
- 質の高い医療サービス提供体制の整備
  - ▶ 地域医療構想に基づく医療機能の分化・連携の促進、医師、看護職員の人材確保

- 地域ぐるみで支え合う仕組みづくり
  - ▶ 在宅医療におけるIoTの活用
  - ▶ 訪問看護ステーションと病院の連携強化
- 環日本海地域の環境保全
  - ▶ 「2016とやま宣言」に基づく環境保全
- 「心の元気」を醸成する文化の振興
  - ▶ 富山県美術館の開館に向け情報発信の強化
- 未来を拓く人材育成
  - ▶ 発達段階に応じたキャリア教育の充実



市町村等の地域連携協約の締結

⇒ 1圏域以上

認定看護師数

158人 ⇒ 300人

地域包括ケア活動実施団体登録数

⇒ 1,500団体

